

「発刊に寄せて」

北海道教育庁生涯学習推進局生涯学習課長 船 木 誠

北海道ユネスコ連絡協議会が、このたび、本道のユネスコスクール等の活動を取りまとめ、実践事例集として発刊されますことをお喜び申し上げます。

また、貴連絡協議会におかれましては、「いつまでも続く希望の未来、世界の平和を目指して」を平成28年度の年間活動のテーマとして掲げながら、ユネスコ活動をとおり、本道の次代を担う子どもたちの学びの充実に向け、御支援をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、ユネスコスクールは、ユネスコ憲章 に示されたユネスコの理想を実現するため、昭和28(1953)年に創設され、地球規模の問題に対する国連システムの理解や人権、民主主義の理解と促進、異文化理解や環境教育といったテーマについて、質の高い教育を実践する学校であり、文部科学省では、ESDの活動拠点として位置づけております。

このような中、本道におけるユネスコスクールの加盟状況は、平成21年10月に室蘭市の清泉幼稚園が北海道で初めて加盟してから、今年度まで、44校が各学校の児童生徒や地域等の実態に応じた特色ある様々な取組を実践されております。

中でも、ESDの取組では、北海道留辺蘂高等学校が、第6回ESD大賞高校賞を本道の学校としては、はじめての受賞を果たしたり、石狩市立生振小学校が、国立教育政策研究所の「教育課程研究指定校」として、地域に根ざしたESDの取組について研究を深めたりするなど、各地域での持続可能な社会の構築に向けた具体的な取組がますます活発化しております。

ESDの取組については、次期学習指導要領の中で、教科等を越えた教育課程全体の取組を通じて、子どもたち一人一人が、自然環境や地域の将来などを自らの課題として捉えながら、そうした課題の解決に向けて自分ができることを考え、実践できるようにしていくための取組として、注目されているところであります。

皆様におかれましては、本資料を御活用いただきながら、今後より一層、ユネスコスクールの活動の質が向上し、ひいてはユネスコスクールが持続発展教育(ESD)の推進拠点としても発展することを御期待いたします。

道教委といたしましても、貴協議会をはじめとする関係者の皆様と力を合わせて、より良い教育環境づくりを進めてまいりたいと考えておりますので、今後とも御理解と御協力をお願い申し上げます。

結びになりますが、北海道ユネスコ連絡協議会の益々の御発展と、本道のユネスコスクールに関係する皆様の御多幸を祈念いたしまして、発刊に寄せての御挨拶とさせていただきます。